

第81回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会2連覇19回目の優勝について

記者各位

JX-ENEOSサンフラワーズ（ヘッドコーチ：佐藤清美）は、一昨日行われました第81回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会におきまして、デンソーに66対53で勝利し、2連覇および史上最多記録を更新する19回目となる優勝を果たしましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、前半は相手チームの積極的なディフェンスに苦しみましたが、後半開始早々にエース渡嘉敷選手のシュートで逆転。終盤には、怪我から復帰した吉田選手の連続得点により逃げ切り、勝利を収めました。

また、今大会で活躍した選手に贈られるベスト5に、当チームから渡嘉敷来夢選手と吉田亜沙美選手の2名が選ばれました。

JX-ENEOSサンフラワーズは、現在行われている第16回Wリーグにおいて、これまでのところ10勝2敗の成績で3位にありますが、7年連続18回目の優勝に向けて戦ってまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

1. JX-ENEOSサンフラワーズの成績

日付		対戦チーム	スコア
1月3日（土）	3回戦	東京医療保健大学	74-54
1月4日（日）	準々決勝	新潟アルビレックス	89-41
1月10日（土）	準決勝	富士通	72-69
1月11日（日）	決勝	デンソー	66-53

2. 決勝戦の様子



ベスト5に選ばれた吉田選手



選手とチーム関係者

以上